（小６４）鹿児島市立福平小学校

令和３年３月１８日

令和２年度　学校評価　自己評価（３学期）

１　学校の重点目標

〇　基礎・基本の確実な定着とそれを活かす思考力・判断力・表現力の育成

〇　お互いの「よさ」を認め合い，大切にし合う教育活動の推進

〇　運動に親しみ、心身の健康の大切さ、高い安全意識、生命の尊さを学ぶ健やかな体つくりの推進

２　課題と改善策

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 評価項目 | 職員 | 評価結果と改善方法 |
| 学校組織力及び資質向上 | １　学校教育目標の具現化  ２　校務分掌の遂行  ３　専門性を高める研修  ４　各種便りHPでの情報発信  ５　服務規律の遵守  ６　業務改善 | 3.1  3.3  2.8  3.2  3.8  3.2 | ・　子どもに関する情報を関係職員と共有でき  　るように努めることができた。担任だけで抱え込まず連携して対応した。  ・　研修会のリモート参加が難しかった。さらに研修等が必要である。  ・　業務の効率化は、一人では難しい。全体的な意識改革に努める。 |
| 豊かな心の育成 | １　「聴き方名人」としての傾聴  ２　あいさつの率先垂範  ３　楽しい学校づくり  ４　ボランティア・JRCの推進  ５　清掃活動 | 3.2  3.3  3.1  2.8  3.4 | ・　挨拶の上手な子をモデルによいあいさつの仕方を身に付けさせる。  ・　学校美化について職員が率先してゴミを拾ったり、傘立ての整理をしたりする。  ・　ボランティア活動の6年から5年の引継ぎがうまくできた。 |
| 学力向上 | １　達成目標の設定と子どもが満足する学習指導  ２　学習のめあて・まとめの板書  ３　互いに説明する活動の設定  ４　一人学びと発表で思考力・判断力・表現力  ５　ドリルの徹底  ６　ICT活用、プログラミング教育の開発  ７　主体的な家庭学習 | 3.3  3.2  3.0  3.0  3.1  3.1  3.1 | ・　子どもが、見通しを持って、学習に取り組めるように努める。  ・　授業の中に必ずお互いの意見・考えを交流し合う場を設定し、思考力・表現力の向上を図る。  ・　本年度の研修をもとに、プログラミング教育の推進をさらに進めていく。  ・　保護者と連携して家庭学習の充実を図る。 |
| 体力向上・健康・安心・安全 | １　規則正しい生活  ２　なわとびを中心とした体力づくり  ３　時間跳び、逆上がり、開脚跳びのクリア  ４　下校指導や安全指導での危険回避  ５　スマホ・タブレット・ゲームのルール作  りの啓発 | 3.1  3.0  2.8  3.0  3.1 | ・　朝、子どもといっしょに縄跳びをすることで、体力つくりの意欲を高めることができた。  ・　下校指導で引率だけでなく、ポイントごとに立哨する方法も考える。  ・　生活リズムについて週報での呼びかけや調査週間で意識の向上や改善を図った。 |

３　次学期に向けての取組

　〇　子どもの危険予知トレーニングを行い、安全意識の向上に努めるともに、保護者や外部関係機関と連携を図り事故・けが防止に努める。

〇　鹿児島学習定着度調査で、今年度成果が出た取組を学力向上アクションプランにまとめ継続して学習の

定着を図る。

〇　登校しぶりの子どもをなくすために、全校体制で保護者・関係機関と連携し解決に努める。生活リズム

を崩す原因の１つである情報機器等について、家庭でルールを作り早寝・早起きなどの改善を図る。